



義務を果たし、権利を主張できる当たり前の世の中に！

しまざき たかふみ
島崎隆夫が問う

町民の期待に応える行政運営を

Q 18歳を成人とする改正民法が成立した。主権者教育の重要性を改めて感じる場所である。このたびの町長選挙での投票率や傾向をどのように捉え、対策を考えるのか。また、学校教育だけでなく、町民に対し、自らが社会の一員であり主権者であることを認識するような方法を考えてはならないと思うが。

A 総務課長ほか まず、現在のシステムでは細やかなデータをとれず、今後の課題であると考えます。学校教育では、主権者教育を社会科の授業はもとより、さ

まざまな場面を通して行なっています。また、社会全体で考えることも必要ですので、家庭・地域と連携して進めます。

近隣自治体との連携を

Q 本年4月より運行されたデマンドタクシーは、おおむね好評のようである。検証や改正を進めることで、よりよいものにしたい。さらに、今後研究すべきことは、近隣自治体と合同で公共交通を運営できないかということである。観光での連携や深谷市のアウトレットモールが及ぼす影響などを考えて、将来を見据えた動きが必要と考えるが。

A 都市政策課長 まず、近隣自治体の現状を把握し、小川町公共交通活性化協議会で協議したいと考えます。



選挙により、新たな任期を得た松本恒夫町長。期待に応える町政を！



スピード感を持って活動してよ。

しばさき まさる
柴崎 勝が問う

ホンダ移転に伴う協力体制は

Q 小川町総合運動場利用の見直しは。また、野球場予定地の今後の利用は。

A 生涯学習課長 総合運動場については、利用者の方から変更や改正の要望もないので、大きく見直しを行う予定はありません。また野球場予定地については、今後、利用ニーズの調査や必要な野球場の具体像の研究など、整備に向けて努めていきます。

Q ホンダ野球部に総合運動場・野球場予定地の活用について協力をお願いし、町も積極的に活用を考えては。

A 生涯学習課長 ホンダ狭山工場が寄居工場へ移転することは、町の活性化・発展にとってチャンスであると捉えています。総合運動場・野球場予定地については、既に本田技研 硬式野球部での活用をお願いしており、今後も引き続き要請していきます。

県道本田・小川線の開通は

Q 開通の予定時期は。

A 建設課長 県の事業なので明確にはお答えできませんが、県道熊谷・小川・秩父線交差点部から北側の町道228号線交差点部までの区間については、「優先して工事を進め先行して開通させたい」と伺っています。



ホンダの利用が待たれる野球場造成地。



多くのボランティア活動でポイ捨てなくぞつ。

おおとひさかず
大戸久一が問う

小京都おがわにふさわしい町を

Q 清流の槻川、兜川は草も伸び、水路や通学路周辺でごみのポイ捨てが多く見られる。地域での清掃活動の展開は。

A 環境農林課長 環境美化活動各種補助金を交付、支援していますが、ボランティア活動しやすい体制で、住みよい魅力あるまちづくりを推進していきます。

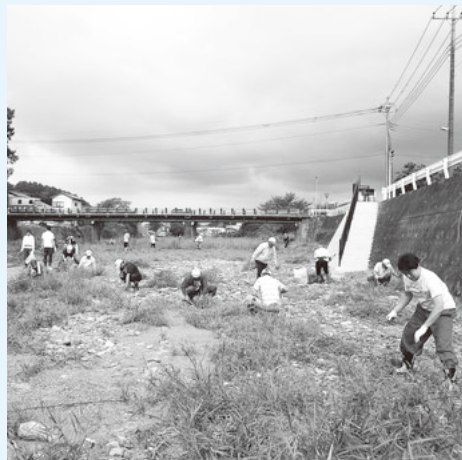
Q 環境美化推進委員会を中心に各地域でゴミ問題に取り組んでいるが、ポイ捨ては一向になくならない。例えば罰則規定を取り入れた「ポイ捨てゼロできれいなまちづくり条例」を制定すべきと考えるが。

A 環境農林課長 条例を制定し啓発していくことで、ごみのポイ捨て意識の改善を図るにはよいきっかけと考え、可能かどうか研究していきます。

活力ある老人会のあり方は

Q さまざまな友愛活動を行い、地域の活性化に大きく貢献しているが、老人会組織数、会員数とも激減している。今後のあり方について、町、議会、老人会でしっかり議論すべきと考えるが。

A 長生き支援課長 老人会は地域に密着した組織であり、地域を熟知し、多種多様な経験・豊富な知識・技術を持った集団であり、地域の大きな存在です。老人会のあり方については、関係機関と連携しながら方向性を議論していきます。



ボランティア団体による河川清掃活動。



公共施設やスーパーに行くミニバス

(S・Aさん・65歳)



駅周辺にサイクリストの待合場所

(K・Aさん・52歳)



小川町の魅力を感じることができる魅力あるお店

(U・Sさん・70代)



小さな子供がいても安心して外食できるようなお店

(Y・Tさん・30代)

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」